

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北リモートワークタウン推進事業			事業番号	016-007
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	スマートシティ担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合			
		寄与するKPI	有	現状値	29.5%(2025年推計値)	目標値	30.5%(2025年度)	
		有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3		
		有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	SENBOKU New Design（旧泉北ニュータウン再生指針）、堺スマートシティ戦略		
3	事業開始年度	令和 3 年度	終了（予定）年度	令和 4 年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）			

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	本市内外の民間事業者や市民等（南区生産年齢人口約7万人）	対象数	単位
			70,000	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	職住一体・近接のライフスタイル（身近な場所で働ける環境）の環境整備を進めることにより、時間的なゆとりが生まれ、子育てや家族団らんなどの余暇を楽しむ人が増加することを目的とする。		
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	職住一体・近接のライフスタイルに資するリモートワークタウンの形成を推進するため、泉北ニュータウン地域でリモートワーク拠点を整備する民間事業者等を支援する。 * 事業者への拠点整備のための補助の実施		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	民間事業者		
10	公民連携・協働事業	公民連携事業		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 終了(予定)年度	
	泉北ニュータウン地域におけるリモートワーク拠点（市補助対象）の年間延べ利用者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	
			目標値	-	200	-	-
			実績値	-	795	-	-
達成率	-	398%	-	-			
	当該指標を選定した理由	職住一体・近接のライフスタイルを提供し、泉北ニュータウン地域の居住魅力を高めることをめざす					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度補助事業により令和4年度から補助対象先の営業が開始される					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	泉北ニュータウン地域におけるリモートワーク拠点（市補助対象）の整備個所数	か所	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	2	3	-	
			実績値	3	1	-	
達成率	150%	33%	-	-			
	当該指標を選定した理由	利用者の増加を図るためには利用者が気軽に使える施設数を増加させる必要があると考えため					
	目標値の設定根拠・算出方法	本市が補助を実施するリモートワーク拠点の件数					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	泉北リモートワークタウン推進事業	事業番号	016-007
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	7,189	5,000	500	0
13 財源内訳	国支出金	3,594	2,500	250	
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源		3,595	2,500	250
14 人件費 (b)	0	1,640	1,640	1,640	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	8,829	6,640	2,140	0

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	補助金	決算	500	250		R4	決算	
		予算	0	0		R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	
		決算				R4	決算	
		予算				R5	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 年間延べ利用者数	人	-	795
② 上記①にかかる年間経費	千円	8,829	2,140
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		2,692
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 リモートワーク拠点整備推進補助金を活用し、令和3年度においては3件の施設整備を補助した。この3件の施設については、目標を上回る利用者数があり、費用に見合った効果があったと考える。令和4年度においては、近隣センターの既存店舗にも補助対象を拡大し、申請者を募集したものの補助事業者は1件に止まった。こうした状況に鑑み施設整備は一定の水準に至ったと考えられることから、令和4年度をもって補助制度を終了している。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 リモートワーク拠点の整備等を行う事業者に対し、整備に要する経費を補助することにより、職住近接による働き方の実現や、子育て世代の働きやすい環境を整えることで、南区の魅力が向上し、若年層を中心とした人口が誘導される。